

[参考] 先月からの主要変更点

	6月月例	7月月例
基調判断	<p>景気は、おおむね横ばいとなっているが、このところ一部に弱い動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は横ばいとなっている中で、生産は弱含んでいる。 ・企業収益は改善のテンポが<u>緩やかになり、設備投資は持ち直しの動きが緩やかになっている。</u> ・雇用情勢は、<u>失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい。</u> ・個人消費は、おおむね横ばいで推移している。 <p>先行きについては、アメリカ経済等の回復が持続すれば、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、<u>アメリカ経済やアジア経済等の先行きを巡る不透明感により、我が国の最終需要が引き続き下押しされる懸念が存在している。</u></p>	<p>景気は、おおむね横ばいとなっているが、このところ一部に弱い動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は横ばいとなっている中で、生産は弱含んでいる。 ・企業収益は<u>緩やかな改善が続いており、設備投資は緩やかな持ち直しが続いている。</u> ・個人消費は、おおむね横ばいで推移している。雇用情勢は、依然として厳しい。 ・<u>株価は大幅に回復している。</u> <p>先行きについては、アメリカ経済等の回復が持続すれば、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、<u>海外経済の先行きを巡る不透明感や、今後の株価・長期金利の動向に留意する必要がある。</u></p>
政策態度	<p>政府は、持続的な経済成長を実現するため、<u>引き続き構造改革を推進する。このため、6月中を目途として、経済活性化、国民の安心の確保、持続可能な財政の確立等を目指して、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003（仮称）」を取りまとめる。</u></p> <p><u>日本銀行は、6月11日、資産担保証券の買入れの具体的なスキームの骨子を取りまとめた。</u>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>	<p>政府は、持続的な経済成長を実現するため、<u>6月27日、経済活性化、国民の安心の確保、将来世代に責任が持てる財政の確立を目指し、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」を閣議決定した。今後、その早期具体化により、構造改革の更なる強化を図る。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>

各論

	6月月例	7月月例
設備投資	<u>持ち直しの動きが緩やかになっている。</u>	<u>緩やかな持ち直しが続いている。</u>
企業収益	<u>改善が続いているが、そのテンポは緩やかになっている。</u>	<u>緩やかな改善が続いている。</u>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。